

平成23年度
実施事業

事務事業名	登別市衛生団体連合会運営事務補助金
-------	-------------------

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる
施策	2	循環型社会の構築
小分類	1	廃棄物の減量
主要な施策	1	ごみの排出抑制の普及啓発とその実践強化
事務事業番号	002	事業開始年度 昭和 59 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	市民生活部	グループ名	環境対策室 環境対策グループ
-----	-------	-------	----------------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	公衆衛生の向上やリサイクルの啓発等に取り組む団体の活動を支援することにより、清潔で住みよいまちづくりを進めるとともに、資源循環型社会の構築を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	ごみ減量やリサイクルに関する普及啓発、クリーンリーダーの育成事業などを行う衛生団体連合会に対して、運営費の一部を補助する。 【連合会の活動内容】 ・クリーン作戦の実施 ・研修事業の実施（クリーンリーダー研修） ・衛団連だよりの発行 団体の活動実績等の掲載（町内会で回覧） ・表彰事業の実施 環境美化活動において、その功績が優れている個人や団体を表彰 ・各種事業への参加 登別消費生活展、リサイクルまつりへの参加
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	清潔で住みよいまちづくりを進めるとともに、資源循環型社会の構築を図るため、本年度も引き続き、衛生団体連合会の活動を支援する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市廃棄物の再利用及び処理に関する条例

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

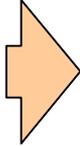
区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	500	500	500	500	500
事業費 合計			500	500	500	500	500

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	クリーン作戦によるごみの回収量	kg	目標値	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
			実績値	8,810	4,660			
	クリーンリーダーの委嘱人数	人	目標値	490	490	490	490	490
			実績値	435	413			

現況 《Check》

現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》
<p>クリーンリーダー（環境美化推進員）講習会 対象者：クリーンリーダー（市内約400名） 講習内容：クリーンリーダーの役割について、登別市のごみの現状について等</p> <p>クリーンリーダー先進都市視察研修会 視察研修地：札幌市近郊リサイクル施設等 視察スケジュール：1日間（終日）</p> 	<p>本講習会については、2年間の任期及び長年継続しているクリーンリーダーを対象に毎年実施しているため、委嘱された新規クリーンリーダーを中心に参加してもらうことで、より理解の深まる講習会となる。</p> <p>また、講習内容についても、説明資料に追加事項等一部変更をし、より充実させていくことにより、多くの参加者が市内の環境美化の推進に繋がる知識を学ぶことができる。</p> <p>視察研修については、研修地の候補として、当市の資源ごみがリサイクルされている施設など、より身近に関わりのある場所を選定することにより、理解を深めてもらう内容とする。</p> <p>また、当日のスケジュールについても、時間の短縮を検討し、限られた時間を有効に利用してもらい、資源循環型社会の構築に繋がる知識を身につけてもらう</p>

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見	登別市廃棄物の再利用及び処理に関する条例の目的を達成するため、市民や市の責任を明確にし、廃棄物の排出抑制や再利用、廃棄物の適正処理の実践を推進する。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である		
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である		
	国、道、民間等の事業と重複・類似している		
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見	市内の全町内会から構成される団体であり、その事業活動については、他市の模範となるところが多数あり、その必要性は高いものであると考える。
	市民アンケートの結果から必要性が高い		
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い		
	市民の大部分が関連することから必要性が高い		
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見	公衆衛生の向上と良好な生活環境保全のために、地区衛生組織の実践活動を促し、清潔で美しいまちづくりのために、様々な事業活動を展開しており、その活動を維持・継続していくための効率性の高い事業である。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い		
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない		
	将来的に効率性を向上できる		
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見	全市的な美化の推進のほか、廃棄物の排出抑制や再利用、廃棄物の適正処理が行われている。また、不法投棄の監視や防止に効果が出ている。
	市民、団体等の声から成果を感じられる		
	目に見える形で成果があがっている		
	成果の把握は困難である		

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	登別市廃棄物の再利用及び処理に関する条例の目的を達成するため、ごみの減量、リサイクルの推進、ごみ分別の徹底、ごみステーションの管理など町内会で組織された同連合会が中心となり実施しているため、活動支援を継続する必要がある。
----	----------------------	--

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考	
----	----	--